

太平洋戦争を終わらせた 内閣総理大臣



鈴木 貫太郎

鈴木 貫太郎

(1868-1948)

和泉国大鳥郡伏尾新田
(のち現・堺市中区伏尾)
出身



海軍軍令部長(海軍のトップ)
侍従長(宮内省のトップ)を歴任し、
1945年、内閣総理大臣に就任。
太平洋戦争の終戦に尽力。

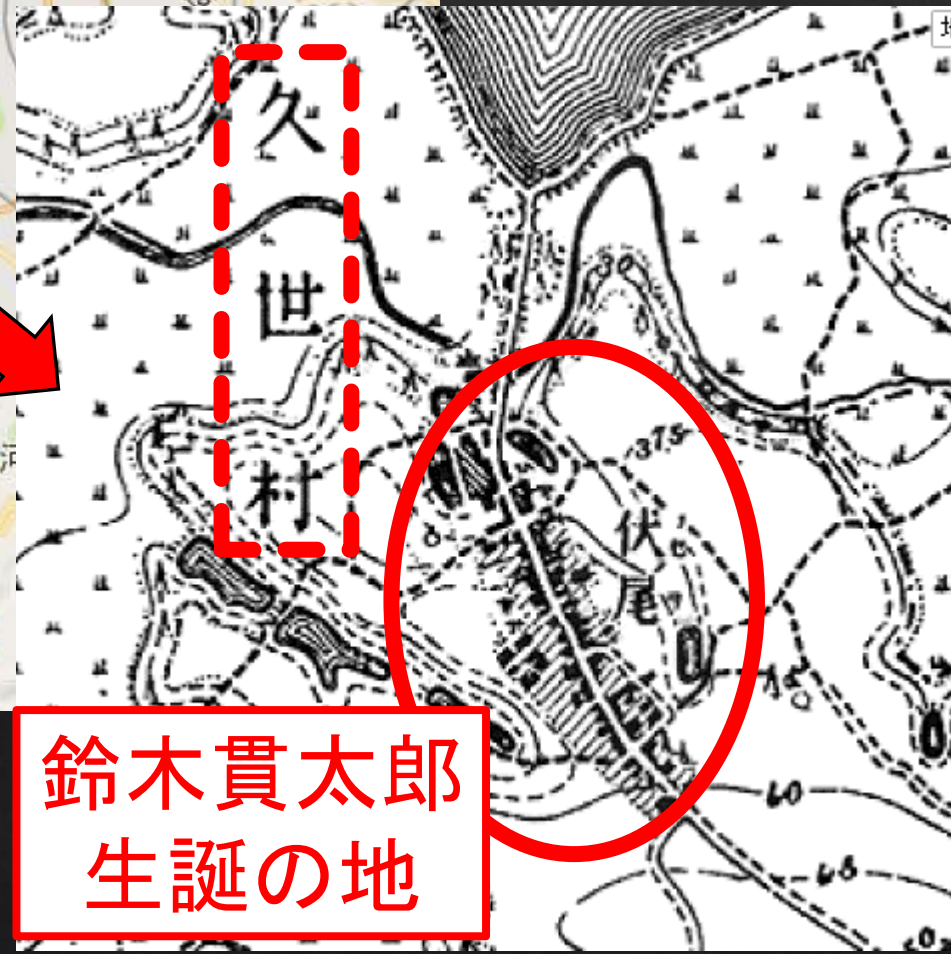
鈴木 貫太郎

(1868-1948)

出生地の堺市中区伏尾
は、久世家関宿藩(現・
千葉県野田市)の領知。
関宿藩士 鈴木由哲の
長男として出生。物心がつく前の2歳で
堺の地を去っている。

ちなみに、大阪府出身の唯一の総理大臣
経験者。





鈴木貫太郎
生誕の地

出生地の堺市中区
伏尾にある、
侍従長拝命を
記念した石碑。
現在地名は伏尾で
あるが、久世家が
おさめた地なので、
昭和30年までは
大阪府泉北郡
久世村だった。今
は小学校名に残る。



石碑完成記念で
生まれ故郷の伏尾に
招待されたときの
写真。

(昭和4年6月)

堺市博物館研究報告
第35号p.25



日本のいちばん長い日

(半藤一利 著)

1945年8月15日の知られざる真実。



INTRODUCTION

戦争終結のために、命をかけて闘った人々。彼らが下した、日本史上最大の決断とは——。

1945年8月14日、日本の無条件降伏
(ポツダム宣言の受諾)をめぐる
ドキュメンタリー



日本の
いちばん
長い日
THE EMPEROR IN AUGUST



1945年4月 同盟国ドイツ無条件降伏

鈴木「総辞職はしません。

この戦争はこの内閣で終結です」



本土決戦を主張する陸軍と、それを抑えようとする阿南惟幾(あなみ これちか) 陸軍大臣の苦悩、そして降伏へ…

交戦中の米国大統領 F・ルーズベルトの訃報に…

「今日、アメリカがわが国に対し優勢な戦いを展開しているのは亡き大統領の優れた指導があったからです。私は深い哀悼の意をアメリカ国民の悲しみに送るものがあります。しかし、ルーズベルト氏の死によって、アメリカの日本に対する戦争継続の努力が変わるとは考えておりません。我々もまたあなた方アメリカ国民の覇権主義に対し今まで以上に強く戦います。」



これに対し…(ドイツのヒトラーはルーズベルトを罵倒した)

アメリカに亡命していたドイツ人作家トーマス・マンは鈴木はこの放送に深く感動し、英国BBCで「ドイツ国民の皆さん、東洋の国日本にはなお騎士道精神があり、人間の死への深い敬意と品位が確固として存する。鈴木首相の高らかな精神に比べ、あなたたちドイツ人は恥ずかしくないですか」と声明を発表し、鈴木 of 武士道精神を称賛、世界に感銘を与える。

鈴木貫太郎は、伏尾に生まれてから
2歳までしか住んでいない。
しかし、生まれ故郷への思いは強く…



生まれ故郷の神社である
多治速比売神社を篤く信奉していた！



鈴木貫太郎は堺を離れた後も、
多治速比売神社に何度もお参りし、



稲荷社に玉垣石を奉納
したり、
拝殿に「敬神崇祖」の
扁額を奉納している。



鈴木が人生最大の危機に見舞われたのが、 1936年の二・二六事件。



時事新報

昭和十一年二月二十六日 (永曜日)

外號

【本紙不更再】

東京市神田區九ノ丁二丁目十八番地
東京時事新報社

（昭和十一年二月二十六日）
（本紙は東京市神田區九ノ丁二丁目十八番地）
（電話三三三三）

青年將校團蹶起し
重臣、大官を襲撃す

岡田首相、齋藤内府等即死

高橋藏相「鈴木侍從長重傷」

一月二十六日午後八時十五分陸軍省發表 本日午前五時頃
部青年將校等は左記箇所を襲撃せり

首相官邸 岡田首相即死
齋藤内大臣私邸 内大臣即死
渡邊教育總監私邸 教育總監即死
牧野前内大臣宿舍湯河原伊藤屋旅館 牧野伯爵不明

鈴木貫太郎：「重症を負った時、多治速比売命が、枕元にお立ちになって命を救われました。そのお礼にお参りに来ました。」



鈴木は3発の銃弾を受け瀕死となったが、妻の機転で奇跡的に命を取り留める。傷が癒えた後に最初にお参りしたのも、生まれ故郷の多治速比売神社だった。

81年の生涯のうち、鈴木が堺にいたのは
物心もつく前のたった2年間。
それでも、窮地に立たされた際に頼りに
したのは、生まれ故郷で祀られる神社
であった…

